

元 気 の 出 る 情 報 ・ 交 流 誌

全 国 手 を つ な ぐ
育 成 会 連 合 会

手をつなぐ

2022
11月
[No.801]

特集

知っておきたいグループホームのいま

今月の問題 売り買いされる雇用率
ひびき 藤木和子(弁護士)



ひとりぼっちじゃないよ [第8回] 育つ権利擁護の心 湯浅正太

わたしたちも言いたい グループホーム 飯島英宏 2

毎日すったもんだ [第71回] 一人になったら 5

特集 知っておきたい グループホームのいま⁷

知りたい! 聞きたい! グループホームについて10のこと 8

グループホームってどんな種類があるの? 又村あおい 14

グループホームで暮らすことのあれこれ

うまくいかなくても、やりなおせる 小林 彰 16

サテライト型で体験する新しい生活 森下 繁 18

年を重ねても自分らしく暮らせる場所として 大西圭介 19

グループホームへのバックアップの仕組み 高木誠一 20

通過型グループホームについて考える

都型通勤寮 連携型グループホームとは? 朝熊貴史 22

通過型グループホームに賛成? 反対? 林淑美・岩上洋一 24

障害者権利条約から見たグループホーム制度 曽根直樹 26

今月のオススメ 29

今月の問題

売り買いされる雇用率 30

ひびき

「きょうだい」でも一人の「私」として 藤木和子 34

ちいきのいいもの 第32回

石鎚黒茶 就労継続支援B型事業所Visee 36

すっきり伝わる相手目線のメール・SNS その8

こと細かに書かなくても大丈夫です 羽山慎亮 37

くらしを支える福祉の制度 第25回

知的障害のある人が「通う」場 その9 38

ニュースのじかん 41

世界の動き

私たち障害者もともに歩もう Aung Moe Satt 42

中央の動き

障害児通所支援の検討会が再開されました 44

枝元なほみのしあわせごはん いち、にっ、さん! [lesson79]

キャベツでボリュームおかず

表紙絵作者のプロフィール

■富田聖治 (とみた・しょうじ) 63歳 ■埼玉県秩父市 障害者支援施設さやか ふらわあ事業所 ■タイトル 動物と人間
■ひとこと ウサギと女の人とワニ、描いたよ。いっぱいの人に見てほしいから、これからも頑張るよ。

グループホーム

東京都大田区

飯島英宏

親^{おや}がいなくなることを

考^{かんが}えているから

親^{おや}からはなれてくらしている。

今^{いま}、グループホームに住^すんでいて、

漢字^{かんじ}の勉強^{べんきょう}を見^みてくれる。

ご飯^{はん}を作^{つく}ってくれる。

自分^{じぶん}だと食事^{しょくじ}を作^{つく}れない。

楽^{たの}しいから一生^{いっしょう}、グループホームで住^すめたら

自分^{じぶん}はいいと思^{おも}っている。

土^ど、日曜日^{にちようび}は家^{いえ}に帰^{かえ}っている。



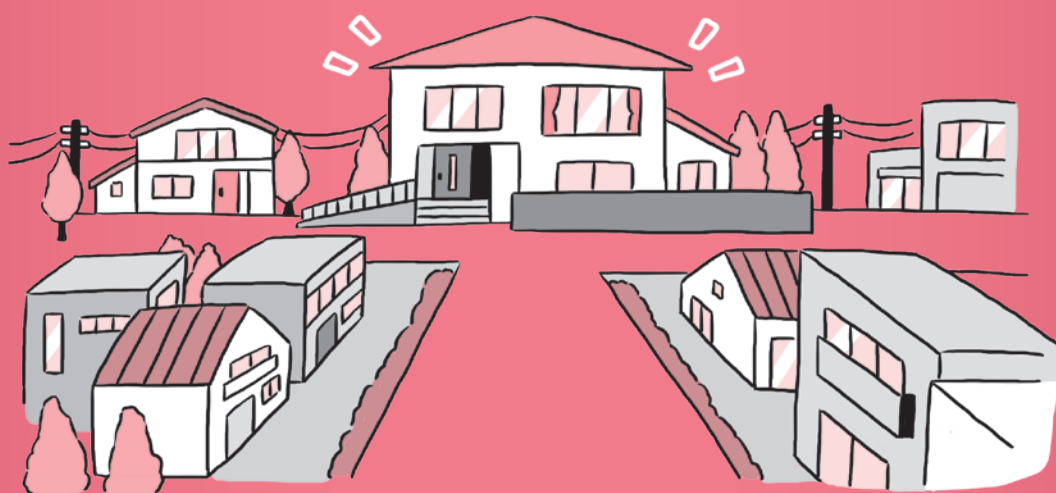
グループホームでアドバイスを^う受けながら
へいおんな生活^{せいかつ}をしている。
今後^{こんご}も自分^{じぶん}の工賃^{こうちん}や
しょうがい者^{しゃ}年金^{ねんきん}で
趣味^{しゅみ}や楽しいこと^{たの}をたくさん出来^{でき}たら
いい^{おも}と思っている。



「わたしたちも言^いいたい」ではみなさまからのお便^{たよ}りを募^ぼ集^{しゅう}しています（宛^{あて}先^{さき}は48ページ）。
生活^{せいかつ}のこと、仕^し事^{ごと}のこと、暮^くら^らしのことなどふだん感^{かん}じていること^{こと}を書^かいてお送^{おく}りください。

知っておきたい

グループホーム のいま



グループホームが制度化されて約30年。

「どの地域でどのように暮らすか」の選択を保障するとともに、

一定の独立性を保ちながら周囲との人間関係も

つくりやすいという特徴から、拡大普及していきました。

一方で、小規模とはいえ集団生活であること、

規模・定員が拡大していること、

一部に過度な入居条件を設定する事業者があること、

火災・災害リスクに対する設備要件など、

そのあり方についてたくさんの議論があった制度でもあります。

また、「通過型グループホーム」の是非についても、

いまなお方向性が見出せている状況とはいえません。

そうしたグループホームの現状について、お伝えします。

知りたい！聞きたい！

グループホーム について10のこと

入所施設などからの地域移行、あるいは親元を離れて暮らすことを考えるとき、
グループホームは大きな選択肢です。

しかし、利用者の障害特性や立地、建物の構造などはそれぞれ異なり、
そこでの生活に家族としても不安に感じることもあるかもしれません。

ここでは、グループホームについて感じる疑問や不安に『手をつなぐ』編集委員が答えます。

Q1

グループホームって、
わかりやすくいうと
どんなところ？

グループホームという名前はよく聞きますし、近所にもいくつかあります。ただ、建物もそれぞれ違いますし、中の様子まではわかりません。入所施設と何が違うのでしょうか？

A 少人数で、地域で暮らすのが グループホーム

わかりやすくいえば、少ない人数で比較的個性の高い支援を受けながら、一般的な地域社会の中で暮らすのがグループホームです。知的障害のある人の暮らしの場は、大規模な集団生活を基本とする入所施設か、親など家族と同居するか、大きく分けてその二つの選択肢しかありませんでした。これに対して、当事者の声などを受けて普及していったのが障害者グループホームです。

正式には「共同生活援助」と呼ばれ、住宅地の戸建やアパートなどで4、5人がそれぞれ個室をもって暮らすというのが標準的です。基準上は、1住居（1棟）あたりの定員10人、出入口を分けるなどすれば、近接・同一敷地で2棟までの設置が認められています。

世話人や生活支援員と呼ばれる職員が食事や生活上の相談、食事や入浴などの支援を行います。基本的には夜間と朝が支援の中心になりますが、日中に支援員が常駐しているグループホームもあります。